



100th

受け継ぐこと、変えること
創業100周年

Investor's Report

2020年
3月期

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

証券コード: 7224

連結業績ダイジェスト



- 1 売上高は、航空機を除く全てのセグメントで増収。過去最高値を3年連続で更新。
- 2 営業利益は、増収や収益性の改善に伴い、全てのセグメントで増益。
- 3 2021年3月期の通期業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響度の算定に時間を要しており、現時点では未定。



1株当たり当期純利益

2019年3月期 実績

76円41銭

2020年3月期 実績

113円11銭



中期経営計画 「Change for Growing, 2020」 最終年度を迎え、 「今」と「その先」を見つめる

取締役社長 **五十川 龍之**

いつも、当社をご支援いただき誠にありがとうございます。
株主の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、公私ともに平時とは異なる生活を余儀なくされていることとお察しいたします。当該ウイルスに感染された方々に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

この、新型コロナウイルス感染症との闘いは、長期戦になることが予想されます。当社グループにおきましては、お客さま、お取引先さま、そして当社グループ従業員とその家族の健康と安全を第一に考え、恒常的な感染防止に努める所存です。

過去最高の売上高計上、そして創業100周年を迎えた2020年3月期

中期経営計画「Change for Growing, 2020(以後、「CFG2020」と記載)」の中間年にあたる2020年3月期は、「CFG2020」の目標達成に向け、製品・サービスの付加価値向上や海外展開などの成長戦略に取り組んでまいりました。また、これと並行して営業強化や生産性向上にも注力した結果、堅調な市場環境も追い風となり、売上高は過去最高値を3年連続で更新し、営業利益も前期比で増益となりました。さらに、資本効率を意識した経営指標の一つであるROEも「8.9%」と、「CFG2020」で掲げた目標値「8%」を上回る成果をあげることができました。

そして、2020年2月には、当社グループを取り巻く多くの方々を支えられ、創業100周年を迎えることができました。新たな歴史を刻むスタートに立った今、将来にわたって持続的成長を遂げる企業グループであるために、この1年は、経営者として、これまでの歴史の重みを噛みしめるとともに、ここから新たな歴史を築いていく責任の重さと決意を胸に、創業100周年のキャッチフレーズに掲げた「受け継ぐこと、変えること」について深く考えてまいりました。

そして、大きな変化が予想されるこれからの社会において、当社グループの存在意義と目的、使命を明確にしておきたいとの思いから、本年4月、新たに次の「経営理念」を制定いたしました。

【経営理念】

新明和グループは、たゆまぬ技術革新で、
安心な社会と快適な暮らしを支え続け、
人々の幸せに貢献します。

この理念には、絶えず進化を続ける技術の習得に努め、そこから生み出した独自技術や新たな製品・サービスを通じて、「安心」で「快適」な世の中を支える存在でありたいとの思いを込めています。そして、「人々の幸せに貢献する」、これこそ、当社グループが存在する意義・目的であり、あらゆる人々の幸福度や満足度の向上に努める決意を示しました。

コロナ禍での2021年3月期(「CFG2020」最終年度)の取り組み

2021年3月期は、「CFG2020」の最終年度にあたりますが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、当社グループの主要事業にも影響が及んでおります。航空機セグメントにおいては、航空業界の停滞に伴う民間航空機部品の減産が明らかとなり、対策の検討を進めております。これ以外にも、新型コロナウイルス感染症に起因する業績変動要素を抱えていることから、今年度の業績予想は、株主総会日時点では未定としております。

こうした状況下、今年度は、新型コロナウイルス感染症に起因する経営リスクを最小限に抑える諸施策を迅速に講じていくとともに、「CFG2020」で掲げた海外展開やM&A等の事業成長戦略は、手を緩めることなく取り組んでまいります。

また、将来にわたって当社グループの企業価値を高めていくには、長期志向経営への転換が必須と考えております。今年度は、この長期志向経営の礎となる、10年先の「あるべき姿」を描いた「長期ビジョン」の策定と、これに基づく「長期事業戦略」の策定にも取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、かつて経験したことのない大変な状況下にありますが、くれぐれもご自愛のうえお過ごしくださいととともに、当社グループに対しまして、今後とも変わらぬご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

セグメント別業績



航空機

- US-2型救難飛行艇の製造作業量が減少したことなどから、全体では減収。
- 工事損失費用の減少や原価低減活動等により収益性が改善し、増益。

売上高

(単位:百万円)

43,635 38,950
前期比 10.7%減

2019年3月期 2020年3月期

営業利益

(単位:百万円)

649 1,551
前期比 138.9%増

2019年3月期 2020年3月期



特装車

- 堅調な需要環境を背景に、増収。
- 人件費や減価償却費等の費用が増加するも、増収効果がこれを上回った結果、増益。

売上高

(単位:百万円)

92,333 94,627
前期比 2.5%増

2019年3月期 2020年3月期

営業利益

(単位:百万円)

6,544 6,802
前期比 3.9%増

2019年3月期 2020年3月期

中期経営計画「CFG2020」では、IoTやAI等を駆使した製品・サービスの開発や、海外市場の拡大など、基盤事業の規模拡大・収益向上に向けた施策を各セグメントで進めています。今回は、その中の一部をご紹介します。

TOPICS

01

塵芥車用巻き込まれ被害軽減装置「Smart eye motion®」を発売

— 高精度な画像認識技術の開発で安全な作業環境の構築に貢献 —

当社は、2019年10月1日から、世界初の塵芥車用巻き込まれ被害軽減装置「Smart eye motion®」の販売を開始しました。

本装置は、画像認識技術を活用し、人が塵芥車に巻き込まれる危険性があると判定すると、機械の動作を自動停止して巻き込まれ被害を軽減するもので、従来は判別が困難であった投入物と人物を高い精度で区別できるため、作業性を維持しつつ、安全性を向上させることが可能となりました。少子高齢化に伴い労働力・熟練者が不足する中、ごみの積込作業時に発生する事故の抑制・労働環境の改善に貢献します。



TOPICS

02

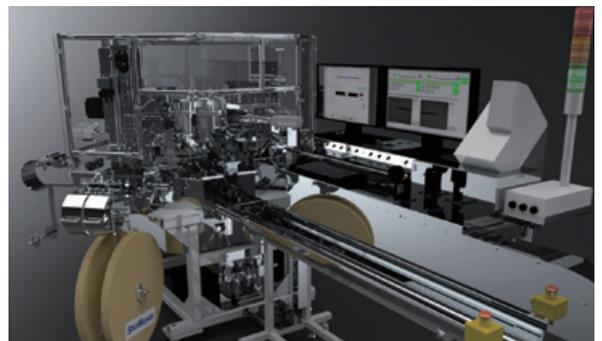
新型自動電線処理機(両端端子圧着)を発売

— 自動車市場向け、拡張性に優れたグローバルモデル —

当社は、2020年4月から、ワイヤーハーネス(組電線)の生産工程で電線の測長・切断、端子圧着など端末加工を高速かつ精密に行う自動電線処理機の新製品「両端端子打機『TRD701』」の販売を開始しました。

自動車市場では、CASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)の伸長に伴いワイヤーハーネスの総需要が長期的に拡大基調にあり、自動電線処理機市場においては、生産性と加工品質のさらなる向上が求められています。

今般開発した『TRD701』では、電線加工の処理能力と品質を大幅に向上させるとともに、段取時間の短縮を実現。最大加工能力は両端圧着1,000mm時で1時間当たり4,300本と、当社従来機比で約30%向上しました。



両端端子打機「TRD701」



産機・環境システム

- 流体製品: 機器、システム、サービス、いずれも堅調に推移し、増収増益。
- メカトロニクス製品: 前期のM&Aが寄与し増収となるも、米中貿易摩擦の影響等で採算が悪化し、減益。

売上高

(単位:百万円)

38,370

前期比 13.5%増

33,810

2019年3月期 2020年3月期

営業利益

(単位:百万円)

2,748

前期比 11.1%増

2,474

2019年3月期 2020年3月期



パーキングシステム

- 機械式駐車設備: 堅調な建設需要を背景に大型機の受注が増え、増収増益。
- 航空旅客搭乗橋: シンガポールドルの円高進行等により工事損失費用が減少した結果、増益。

売上高

(単位:百万円)

37,805

前期比 11.6%増

33,863

2019年3月期 2020年3月期

営業利益

(単位:百万円)

3,223

前期比 37.5%増

2,343

2019年3月期 2020年3月期

会社概要 (2020年3月31日現在)

| | |
|--------|-----------------|
| 商号 | 新明和工業株式会社 |
| 設立年月日 | 1949年11月5日 |
| 資本金 | 15,981,967,991円 |
| 従業員数 | 3,096名 |
| 連結従業員数 | 5,154名 |

役員 (2020年6月29日現在)

| 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 | 役職名 | 氏名 |
|------------|--------|-----|----------|--------|--------|
| 代表取締役社長 | 五十川 龍之 | 取締役 | 刈田 祥史 ※1 | 常務執行役員 | 榎原 敬士 |
| 取締役副社長執行役員 | 石丸 寛二 | 取締役 | 秀島 信也 ※1 | 常務執行役員 | 浅野 隆弘 |
| 取締役専務執行役員 | 田沼 勝之 | 取締役 | 長井 聖子 ※1 | 常務執行役員 | 中野 恭介 |
| 取締役常務執行役員 | 伊丹 淳 | 監査役 | 西田 幸司 | 常務執行役員 | 田中 克夫 |
| 取締役常務執行役員 | 西岡 彰 | 監査役 | 佐野 博一 | 常務執行役員 | 小田 浩一郎 |
| 取締役常務執行役員 | 久米 俊樹 | 監査役 | 金田友三郎 ※2 | 執行役員 | 深井 浩司 |
| | | 監査役 | 杵山 栄理 ※2 | 執行役員 | 長尾 嘉宏 |
| | | 監査役 | 木村 文彦 ※2 | 執行役員 | 中瀬 雅嗣 |
| | | | | 執行役員 | 新居 聡 |
| | | | | 執行役員 | 樋本 崇 |

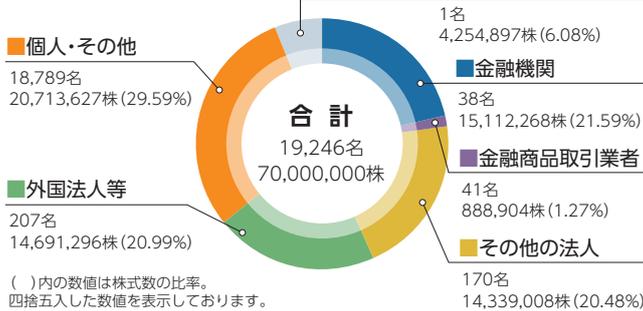
〔※1〕は社外取締役、〔※2〕は社外監査役を示しています。

株式情報 (2020年3月31日現在)

株式の状況

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 300,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 70,000,000株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 19,246名 |

株主構成



大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|---|-----------|---------|
| 三信株式会社 | 9,293,065 | 14.13 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,488,800 | 5.30 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 3,218,900 | 4.89 |
| 新明和グループ従業員持株会 | 2,357,731 | 3.58 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 2,332,000 | 3.54 |
| SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT | 1,566,539 | 2.38 |
| 住友不動産株式会社 | 1,507,500 | 2.29 |
| J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578 | 1,144,100 | 1.74 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385151 | 1,132,039 | 1.72 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 1,104,200 | 1.67 |

(注) 持株比率は、自己株式数(4,254,897株)を控除して計算するとともに、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株主メモ

| | |
|------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人/特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL https://www.shinmaywa.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。) |

各種手続きについて

○証券会社等に口座をお持ちの方

口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、以下のお手続き等につきましては、下欄の株主名簿管理人にお問い合わせください。

- 郵送物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

○特別口座に口座をお持ちの方

下欄の株主名簿管理人/特別口座管理機関にお問い合わせください。

株主名簿管理人/特別口座管理機関

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 **TEL 0120-094-777**
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 (通話料無料)

配当金

2020年3月期の1株当たり年間配当金は、中間配当時に、普通配当とは別に創立70周年および創業100周年記念配当*を実施したことなどから、前期実績より42円増え、87円となりました。
なお、2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では「未定」としており、今期の業績予想を開示する際に、あわせてお知らせいたします。

※2019年9月末現在の株主さまに対し、1株当たり45円

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **7224**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2カ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細<https://www.a2media.co.jp>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ MAIL:info@e-kabunushi.com
[e-株主リサーチ事務局]